

令和8年度の学校評価

本年度の 重点目標		一人一人を尊重し、その育ちと学びを大切にする教育の充実 ①安心して学べる教育環境の整備 ②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実 ③地域とつながる学校づくりの推進 ④働きがいのある魅力的な教育環境づくりと教職員の働き方改革の推進		
項目（担当）		重点目標	具体的方策	留意事項
小学部	①安心して学べる教育環境の整備	関係教職員が各児童の目標を共有して関わることで、安心して学校生活を送れるようにする。	目標や手立てが共有できるように、視覚的に分かりやすい支援ツールを活用する。	児童の成長や学習環境に応じて情報共有し、支援ツールを改善する。
	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を実践し、成長を支える体制を整える。	本人・保護者のニーズを丁寧に聞き取りながら、児童の成長に応じて各計画を適宜見直し、実践と改善を重ねる。	学習集団での会議で検討した内容を、必要に応じて小学部での会議でも取り上げる。
中学部	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	自立した将来へ繋がるよう、一人一人のニーズに応じた中学部段階における指導を推進する。	本人・保護者との丁寧な対話で得た情報を支援会議で共有し、全教職員で目指す将来像を分かち合って指導を行う。	本人・保護者と進路についてよく話し合い、適切な進路選択に繋げる。
	③地域とつながる学校づくりの推進	地域との連携による教育活動の充実を図り、本校の魅力を積極的に発信する。	地域資源を学習の場として活用し、その成果をホームページ等で広く地域へ定期発信する。	経験値を高める活動を充実させるとともに、全職員で発信の重要性を共有し、継続的な更新に努める。
高等部	③地域とつながる学校づくりの推進	キャリア教育をテーマにした研究を地域の障害福祉サービス事業所と連携して実践し、授業改善と教員の指導力向上を図る。	地域の障害福祉サービス事業所との交流や体験を通して生徒の学びを深めるとともに、得られた知見を校内で共有し、指導改善につなげる。	活動内容や実施時期は、障害福祉サービス事業所の利用者や生徒の健康と安全に留意して設定する。
	④働きがいのある魅力的な教育環境づくりと教職員の働き方改革の推進	教職員が互いに支え合い、協働して研究や教育活動を進められる職場環境を整え、働きがいと指導力向上を図る。	定期的な話し合いや情報共有を行い、研究や教育活動をチームで進める体制を整える。	日々のコミュニケーションを大切にし、研究や業務を円滑に進められる関係をつくる。
訪問教育	①安心して学べる教育環境の整備	保護者、医療、福祉等と連携を図り、児童が安心・安全に学習活動に取り組めるようにする。	授業前後の時間や懇談、支援会議等を活用し、保護者や関係諸機関の担当者との連携を図る。	個人情報の保護について十分に留意しながら情報を共有する。
	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	個々の教育的ニーズに応じた授業作りのために、教材・教具の工夫や指導方法の改善に取り組む。	担当者会等を活用し、情報交換を密に行い、実態把握や授業改善を行う。必要に応じて他の校務分掌とも連携する。	複数訪問や、授業の様子を撮影し、複数の教職員で視聴等して客観的に評価する機会を設定する。
総務部	①安心して学べる教育環境の整備	校内の環境を分かりやすく整え、よりよい教育環境をつくる。	校内電話のある位置や、長机やパイプ椅子の管理方法を分かりやすくする。	見て分かるように表示方法を工夫する。
	③地域とつながる学校づくりの推進	保護者や地域に向け、学校の取組や児童生徒の活動を魅力的に発信する。	他校も参考にしながら、学校だより、PTAだよりの内容やレイアウトを検討し、興味・関心を深める内容にする。	個人情報に十分配慮し、写真を多く掲載するなど、活動の様子が伝わりやすい工夫をする。
教務部	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	各教科等を合わせた指導について、教科の視点で整理し、授業改善につなげ、充実を図る。	各部の実情に合わせ、校内研究で取り組んだり、取り扱う教科の内容や目標の共通理解を図って授業実践したりして、実践力を高められるようにする。	昨年度周知した単元シートや各教科等要素シートを活用する。
	④働きがいのある魅力的な教育環境づくりと教職員の働き方改革の推進	業務内容について整理・精選するとともに、校務支援システムを活用して業務改善を図る。	教職員の意見を検討する機会を設ける。校務支援システムの使用方法について事前に部会等で周知を図り、円滑に進められるようにする。	児童生徒に向き合う時間を拡充することを目標として取り組む。
研修部	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	職員の資質能力を高め、分かりやすい授業づくりを目指して校内研修及び校内研究を推進する。	研究については、研修部会で各部進捗状況や課題を共有して検討し、各部代表と連携する。研修については、日程を調整し計画する。	より円滑に研修・研究を進めるため、各部のニーズや状況を理解できるように努める。
	④働きがいのある魅力的な教育環境づくりと教職員の働き方改革の推進	業務内容を円滑かつ正確に遂行できるよう、必要に応じて関係教職員と連携したり、研修部会で確実に情報を共有したりする。	前年度の担当者が作成したマニュアルを活用して計画的に業務が行えるようにする。	マニュアルは必要に応じて変更・修正し、次年度に引き継げるようにしていく。

教育情報部	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	教職員のICT活用能力の向上を図り、教育活動に効果的に生かせるようにする。	ICT支援員による校内研修や実践事例の共有を通して、児童生徒への指導や支援に生かせるようにする。	校内研修の内容を検討する際に、教職員のニーズに合った研修を計画する。
	④働きがいのある魅力的な教育環境づくりと教職員の働き方改革の推進	教育情報部の業務の見直しと効率化を図り、業務を円滑に遂行する。	業務の整理と見直しを行うとともに、各業務の手順や留意点をマニュアルに明記し、担当者が分かりやすいマニュアルを作成する。	マニュアルは、専門的な用語の使用を必要最小限とし、新たに担当になった教職員でも業務を進めやすいよう作成する。
生活指導部	①安心して学べる教育環境の整備	様々な場面を想定した実践的な防災・防犯体制を整え、生徒・教職員が安全に行動できる力を育む。	場面を具体的に想定した避難訓練・教職員研修を実施し、実践的な対応力を高める。	訓練や研修の際は、行政や専門家との連携を図る。
	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	学校行事や委員会活動を通じて、児童生徒が自ら考え、自主的・主体的に行動する力を育む。	役員会・委員会の開催回数を増やすとともに、生徒が企画・運営に主体的に関わる機会を設ける。	委員会間で活動の様子を共有できるようにする。
進路指導部	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	各家庭の希望進路に応じて適切かつ具体的な進路指導を行う。	各関係機関と連携を深め、在宅就労や重度訪問介護を活用した一人暮らしなど、多様な進路先に応じた情報の収集及び提供を行う。	各制度の利用方法や条件を把握し、卒業後の住まいや就労を見据えた支援につなげる。
	③地域とつながる学校づくりの推進	関係機関と連携し、地域資源を生かした進路指導を充実させる。	社会福祉協議会職員を招いた教員向けの研修会や、事業所職員及び卒業生と生徒との交流活動を通して、進路選択を考える機会を提供する。	本校の進路指導に即した内容となるよう、研修や学習のねらいや内容を丁寧に精査し、計画・運営する。
保健部	①安心して学べる教育環境の整備	アレルギー対応及びアレルギー対応に準ずる対応、摂食指導において適切な対応を行う。	保護者、担任等の困り感に対して、教員及び看護師間との共有、相談を行い、よりよい対応を探っていく。	場面に応じて、学校医をはじめ、他の校務分掌や地域機関の助言を受ける。
	②教育的ニーズに応じた指導・支援の工夫	学校保健活動を通して、保健教育を効果的に進める。	各教科、領域、委員会活動に位置付ける。内容によって栄養教諭や養護教諭による授業を行う。	年間指導計画に取り入れる。指導の参考となる情報を他の校務分掌とも協力して提供する。
自立活動部	①安心して学べる教育環境の整備	安心、安全なプール指導の環境を整備する。	プールの水質管理及び教職員の実技研修を計画的に実施し、基本事項を周知できるようにする。	水質管理等について、マニュアルなど教職員に分かりやすいように準備する。
	②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	児童生徒の生活や学習面の教育的ニーズに気づき、適切な指導・支援ができるよう教員の専門性を高める。	自立活動の支援方法についての研修を実施し学ぶ機会を増やす。外部専門家の巡回相談事業を活用し、相談記録をまとめて勉強会を実施する。	教職員が参加しやすい長期休業中に研修を実施する。動画や書面で相談記録を残し、視聴できるようにする。
教育支援部	①教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	外部専門家と連携し、児童生徒への支援指導の充実を図る。	A T相談の中で得られた情報を発信する機会を設け、支援指導の充実につなげていく。	外部専門家との連携では、関係者の考えを事前に把握し、共有できるようにする。
	③地域とつながる学校づくりの推進	地域における特別支援教育のセンター的機能の役割を果たす。	巡回相談事業だけでなく、本校独自の相談活動も活用しながら継続的な支援ができるようにする。	事例について事前に検討し、適切な指導助言ができるようにする。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		一人一人を尊重し、その育ちと学びを大切にする教育の充実 ①安心して学べる教育環境の整備 ②教育的ニーズに応じた指導・支援の充実 ③地域とつながる学校づくりの推進 ④働きがいのある魅力的な教育環境づくりと教職員の働き方改革の推進		